

# 鳥獣行政に必要な人材の配置と育成

— 鳥獣担当職員配置の光と影 —

2021年 11月 4日 (木) 14時～16時

✓参加費無料 ✓300名まで 非会員歓迎！！

✓要事前申込み ※大会参加者も事前に申し込みください

Zoomによる  
オンライン  
セミナー

全国で依然として獣害は深刻化・複雑化している。これらの背景には野生動物の個体数増加のみならず、農山村の人口減少や農業生産力や地域の活力低下など、複雑な社会の問題が関与すると考えられる。これら複雑化した課題を解決するためには通常の行政職員では対応が困難であり、県や市町村に鳥獣問題の専門的人材の配置を求める声が高まっている。そして、一部の自治体では鳥獣対策員等の専門的人材を配置する事例も増えつつある。専門的職員の配置により、当該自治体の鳥獣問題改善に大きな効果があったという成果も聞かれ、これらの試みは我が国の鳥獣対策にとって大きな変化と言える。一方、その財源や人材の確保など、多くの自治体には困難と思われる課題や、研修制度の整備不足や身分保障が不十分なことなど、種々の課題の存在も聞かれる。

そこで、本セッションでは、自治体での専門的職員として活動する、あるいはその経験を有する識者から専門職を配置する自治体の政策的な経緯や実態、改善が必要な課題などを紹介いただき、人材をどのように確保・配置すべきかを含め、鳥獣対策の最前線の支援方法を議論する。

## プログラム内容

◆趣旨説明：山端 直人（兵庫県立大学）

◆話題提供

1. 行政研究部会でのアンケートと岐阜県の事例  
森元萌弥（特非 WildlifeServiceJapan）
2. 都道府県における専門的人材—その役割と配置のヒントを議論する  
近藤麻実（秋田県自然保護課）
3. 「ふつう」の市職員が鳥獣担当7年目を迎えて  
青山真（鹿角市農地林務課）
4. 福知山市役所の鳥獣専門職配置の背景と専門職員の活動から見えるもの  
余田学（福知山市役所農林業振興課  
林務・畜産担当課長）  
望月優（ // 畜産・有害鳥獣対策係  
鳥獣対策員（主査））

◆総合討論

◆行政研究部会としてのまとめ：

行政研究部会部会長 横山 真弓（兵庫県立大学）

## 申込み方法

2021年10月31日（日）まで  
に下記の方法でお申込みください。

①フォームから申込む（Google フォーム）



<https://forms.gle/bp6ToqXbrNlbjDcH6>

②メールで申込む

メールアドレス：[awhs.gyosei2020+1@gmail.com](mailto:awhs.gyosei2020+1@gmail.com)  
以下ご記入ください。

お名前、名前ふりがな、所属先（部署まで）、  
メールアドレス、連絡先電話番号、専門の分野、  
行政研究部会の区別（部会員・準部会員・会員外）

事前お申込みいただいた方に、  
zoomのURLをお知らせします。

